けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI

2018.2 vol.96

一般社団法人
茨城県建築士会

建築作品紹介：北茨城市立図書館

けんちく茨城

2018.2.5　第96号

1	年頭のごあいさつ
2	平成30年新春賀詞交歓会
6	建築作品紹介：北茨城市立図書館
8	知事を囲んで祝賀会
10	ようこそフレッシュマン 3名
12	先輩会員を訪ねて 2名
14	ひたちなか支部　地域貢献盛り沢山
13	県央支部　都市景観ウォッチング
16	行方支部　講習会・日帰り見学会
17	竜ヶ崎支部　本棚作り体験
18	筑波支部　耐震啓蒙活動・空き家等無料相談会
19	筑波支部　つくばマラソン
20	青年委員会　新日鐵住金・日鉄住金鋼板 工場見学会
21	女性委員会　神戸ぶらぶら建築訪問
25	女性委員会　わくわくセミナー・ラブアークセミナー
27	研修委員会　スケッチアップ実用講座
29	まちづくり委員会　体感ルート・ガイドマップ
30	会員委員会　柴又・帝釈天＆上野周辺見学会
31	情報広報委員会　茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会
32	情報広報委員会　既存住宅状況調査技術者講習
33	空き家相談円滑化へ（茨城新聞）
34	建築士事務所　企業年金加入について

題字　大井川　和彦 茨城県知事

表紙　北茨城市立図書館

設計監理　岡田新一設計＋柴建築設計事務所
建築関連業務共同企業体

所在地　茨城県北茨城市磯原町本町2-5-16

主要用途　図書館

建築主　北茨城市

発行　平成30年2月5日

次回　平成30年6月5日予定

部数　2,400部

発行　一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸

〒310-0852　水戸市笠原町978-30　建築会館2F

TEL.029-305-0329　FAX.029-305-0300

E-mail　kyy05413@nifty.com

印刷　株式会社 高野高速印刷

会員を増やして活気ある会とする年に

一般社団法人 茨城県建築士会
会長　柴 和伸

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。

昨年の知事選挙において大井川和彦知事が誕生されて、茨城の新しい扉を開きました。

今後の県政運営では、「人口減少が最大の課題」とし、「夢と希望を持てる挑戦していく県にしていく。他県とは違う、独自の輝きを放つ茨城をつくりたい。」と意気込みを述べておられます。私たち建築士会も茨城のために何ができるかをよく考えながら支援していきたいと思います。

会の事業活動

本会では、会員・非会員を問わず、幅広い建築分野の建築士に対し、常に高度・複雑化する技術・施工・法規等の情報を習得することを求めています。

建築士は、発注者や消費者及び社会に向けて良好な建築環境を提供する義務があり、そのためにも日常の設計・工事監理、施工などの面から建築士として絶えず自己研鑽を積み、社会の要請に的確に応えていく必要があります。

このため、本会では法定講習はもとより建築士が備えるべき知識、技能の維持向上に資するための研修・講習会を数多く実施し、建築士のスキルアップに努めてまいります。

また、本会は、建築士のための情報コミュニテイ発信拠点として、「地域に根ざした支部活動」、「活発な委員会活動」などを通じて、大いに社会貢献してまいります。

一方、空き家が大きな社会問題になっており、本県でも空き家が１８万５千戸に及び、空き家率が１４．６%、7戸に1戸が空き家という状況です。

各市町村では、「空き家対策協議会」、「空き家相談会」の設置など対策に取り組んでおりますが、本会では、関係団体と連携して、これらの事業に会員を派遣するなど支援活動を行ってまいりました。

さらに、昨年は、建築士会連合会と連携して「既存住宅状況調査技術者講習」を実施し、既存住宅調査を行う技術者の育成に取り込んでおります。今後とも社会情勢の変化により新たに求められていく知識・技術を習得するための事業に積極的に取り組んでまいります。

会員増強に向けて

高齢を理由とする退会者が増加する一方、かつてのように若年層を中心とする新規入会が進まず、年々会員数が減少する傾向にあります。

入会してもメリットがないとの声を耳にしますが、研修・講習会等への参加による自己研鑽、会員間の交流による人脈づくり・情報交流、地域での社会貢献活動への参加などインターネット社会では得られない多くのメリットがあります。

昨年１２月に各支部長さんへ会員増強をお願いしたところですが、会員の皆様も本会の魅力や入会して得られるメリットなどをお伝えいただき、１人でも多く新規入会者を発掘して頂きますようお願いいたします。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

平成30年
新春賀詞交歓会

平成30年1月19日（金）

大井川 和彦
茨城県知事

岡田 広
参議院議員

田所 嘉徳
衆議院議員

上月 良祐
参議院議員

白田 信夫
茨城県議会議員
本会顧問

伊沢 勝徳
茨城県議会議員
本会顧問

柴 和伸
本会会長

年の初めの恒例行事となった第16回新春賀詞交換会が1月19日（金）水戸プラザホテルにおいて開催された。今回は、来賓、会員・賛助会を合わせて340名が参加した。

松山副会長の開会宣言の後、主催者代表で柴会長から挨拶があり、各委員長をはじめ会員の皆様のご協力により平成29年度の目標としてきた事業について概ね遂行することができた。

さらに、本年度以降も研修会、各種セミナーの開催、応急危険度判定士の養成講習会の開催など行政への協力、木造塾、空き家対策なども継続してやっていきたい。

一方、国内経済は依然として厳しい状況が続いてはいるが、会員の皆様とともに、この厳しい状況を乗り切って行きたいなど新しい年に向けた抱負を述べられた。

来賓挨拶では、大井川知事、岡田参議院議員、田所衆議院議員、上月参議院議員、白田県議、伊沢県議からご祝辞を頂いた。

続いて、「いばらき地域適合型木造住宅提案コンペ」の表彰式が行われ、各賞の受賞者が県木連酒井副会長より表彰された。

その後、建築士事務所協会横須賀会長の乾杯ご発声により祝宴に入り、例年のことながら支部の枠を

超え、また、来賓及び賛助会員の方々との交流は大変有意義なものとなった。

　また、祝宴でのメインイベントである抽選会には、会員及び賛助会より多くの景品のご提供を頂き、最後に(株)フジクリーン茨城様からご提供された５０型４K液晶テレビが当たるなど大いに盛り上がった。祝宴は盛況のうちに進行し、武村副会長の中締めにより賀詞交換会は終了した。

　戌年は「戌笑う」という格言があります。「笑門来福」会員の皆様にとって笑いと福の多い年であることをお祈り申し上げます。

平成30年　第6回新春賀詞交歓会参加者名簿

※当日出席された方のお名前を掲載しています

ご来賓

茨城県知事	大井川和彦
参議院議員	岡田　広
衆議院議員	田所　嘉徳
参議院議員	上月　良祐
茨城県議会議員	白田　信夫
茨城県議会議員	伊沢　勝徳
茨城県土木部都市局長	新　一真
茨城県土木部技監兼都市局建築指導課長	小沼　紀男
茨城県土木部都市局住宅課長	海老沢和雄
水戸市建設部長	猿田　佳三
水戸市都市計画部建築指導課課長補佐	大森　基順
日立市都市建設部参事兼建築指導課長	沼田　敬元
(一社)茨城県建築士事務所協会　会長	横須賀満夫
(公社)茨城県林業協会　理事長	石川　多聞
(一財)茨城県建築センター　理事長	江原　秀明
(一社)茨城県設備設計事務所協会　会長	菊地　繁
茨城県行政書士会　会長	國井　豊
(一社)茨城県建設業協会　専務理事	田山　寛治
茨城県木材協同組合連合会　副会長	酒井　宗衛
(公社)茨城県測量設計コンサルタント業協会　会長	方波見　正
茨城県鉄筋業協同組合　理事長	大平　時彦
茨城県板金工業組合　理事長	野溝　年成
(一社)茨城県空調衛生工事業協会　会長	小川　三郎
茨城県管工事業協同組合連合会　会長	石田　賢司
(公社)茨城県水質保全協会　理事長	成田　浩明
(一社)茨城県貯水槽維持管理協会　会長	稲葉　貞幸
茨城県解体工事業協同組合　理事長	髙野　竜也
茨城県塗装工業組合　理事長	岡﨑　一徳
茨城ディスプレイ協同組合　理事長	伊藤　三男
茨城県鐵構工業協同組合　副理事長	萩原　文雄
茨城県防水工事業連合会　副会長	大宮　義一
(一社)茨城県電設業協会　副会長	園部　昌之
(一社)茨城県消防設備協会　副会長	入江　元
(公社)茨城県宅地建物取引業協会　副会長	車　孝則
茨城県電気工事業工業組合　事務局長	小津　洋子
茨城新聞社　水戸支社長	二方　善郎
日本工業経済新聞社　水戸支局長	沼田　好世
日本建設新聞社　水戸総局長	井上　哲郎
(一社)茨城県建築士会　相談役	滑川　浩一
(一社)茨城県建築士会　相談役	関根　愼一

（敬称略、順不同）

正会員

会長	柴　和伸
副会長	松山　恒男
〃	武村　実
〃	市毛　純一
常務理事	高槻　一雄
〃	岡田　一夫
〃	潮田　充
〃	久保田吉文
〃	川又　晴彦
北茨城支部	篠原　武司
久慈支部	市川三和子
〃	木村　千明
〃	藤井　耕市
高萩支部	佐藤　新一
〃	豊澤　時雄
日立支部	石黒　幸喜
〃	梅原　郁夫
〃	加藤　雅史
〃	菊池　積
〃	清水　雅史
〃	白石　国寛
〃	田那辺　茂
〃	坪和　昭男
〃	冨田　義光
〃	生田目　昇
〃	松崎　行夫
ひたちなか支部	大内　賢一
〃	上久保博隆
〃	近藤　康範
〃	清水　洋一
〃	庄司　真澄
〃	立花　秀之
〃	浜中　本子
〃	山田　博則
鹿島支部	椙山　光彦
〃	髙橋　文男
〃	中薗　薫
〃	細田　吉貞
県央支部	浅子　明美
〃	浅野祐一郎
〃	安達　芳男
〃	荒川　芳和
〃	飯島　隆
〃	池崎　栄二
〃	井坂　光宏
〃	石川　啓司
〃	石黒　洋子
〃	石田　一裕
〃	泉　安幸
〃	内山　一志
〃	宇留鷲博一
〃	遠藤　洋三
〃	大鐘　孝弘
〃	大槻　薫
〃	大山　早嗣
〃	岡崎　和裕
〃	岡部　安寿
〃	小川　憲一
〃	小貫　弘巳
〃	小沼　隆志
〃	金澤　重雄
〃	轡田　久恵
〃	工藤　恵
〃	久野　正行
〃	倉田　章吾
〃	小圷　真司
〃	小林　要
〃	小林　亮介
〃	小室　晶
〃	斉藤　栄治
〃	酒寄　光一
〃	佐藤　哲夫
〃	椎名　康一
〃	篠根　玲子
〃	杉本　孝一
〃	鈴木あかり
〃	鈴木壮一郎
〃	鈴木　弘
〃	関根　貴雄
〃	瀬谷　和人
〃	田中　健一
〃	飛田　直身
〃	富田　正美
〃	中山　眞矢
〃	根本　勝義
〃	根本　周作
〃	根本洋一朗
〃	塙　貴宏
〃	塙　秀之
〃	早川　敏史
〃	平沼　清美
〃	藤田　康広
〃	舟橋　健
〃	松下　理
〃	丸山　好史
〃	宮本　久
〃	守田　義広
〃	柳下　文江
〃	山田　一博
〃	横須賀　孝
〃	吉田　進
〃	吉田　雄一
〃	和田　淳一
〃	渡辺　章夫
県庁支部	小笠原正裕
〃	野澤　謙次

〃	増澤　敬
行方支部	橋本　照雄
〃	原　正樹
〃	藤崎　政行
〃	本澤　幸一
鉾田支部	葛西　栄一
〃	鎌田富士夫
〃	久米　恒雄
〃	田崎　重司
古河さしま支部	小沼　富司
〃	小林　澄夫
〃	長塚　威
〃	根本　和也
〃	長谷川正幸
桜川支部	飯島　一則
〃	飯島　洋省
〃	市村　洋
〃	稲葉　正彦
〃	鈴木　孝和
〃	高宮　英司
〃	藤田　昭一
〃	古橋　明
〃	渡辺　清一
下妻支部	飯村　純男
〃	軽部　守彦
〃	杉田　昭広
〃	広瀬　元二
常総支部	杉田　次夫
〃	髙野　武
〃	福田　明良
〃	松崎マサ子
筑西支部	小島　時夫
〃	郡司　政美
〃	柴　博美
〃	田嵜　人視
〃	平入　彰
〃	谷島　正憲
坂東支部	小林　陽一
〃	篠塚　康延
〃	滝本　稔
〃	名越　伝
〃	森　均
結城支部	小貫　廣利
〃	小谷野栄次
〃	田中　一博
〃	北條　豊之
石岡支部	貝塚　勇
〃	小暮　真一
〃	島田　哲
〃	三輪　清司
〃	和田　邦裕
稲敷支部	児玉　欽司
〃	新田　孝司
〃	根本　浩司
北相馬支部	石田　博英
〃	小磯　俊明
〃	土井　金哉
筑波支部	相澤　晴夫
〃	青木　孝二
〃	市村　正義
〃	潮田　浩
〃	大塚　益弘
〃	沖山　哲夫
〃	河野　正博
〃	斉藤　保弘
〃	中泉　文夫
〃	長瀬　行弘
〃	野口　克典
〃	堀江　功
〃	茂垣　直樹
土浦支部	青山　立美
〃	赤木香菜子
〃	石坂　健一
〃	市村　庄一
〃	大野　雅明
〃	小川　剛樹
〃	櫻井　成郎
〃	鈴木　啓之
〃	須藤　隆
〃	塚本　美明
〃	豊崎　晋也
〃	中村眞紀子
〃	平島かよ子
〃	若栁　綾子
竜ヶ崎支部	家富　秀一
〃	佐藤　信一

賛助会員

アイ・アール(株)	岩間　夕子	(株)菊地設備設計事務所	横山　努	〃	羽成　正光
〃	神谷かおる	(株)菊正塗装店	鈴木　章	常陸大理石(株)	佐川　功
アイジー工業(株)	長谷川隆介	クレハ錦建設(株)関東支店	鈴木　忍	(株)日立ビルシステム	尾崎　貴規
(株)ＩＴＳ	髙貫　修	(株)建築資料研究社	海老澤和久	〃	加藤　貴浩
アオキ(株)	青木　雄司	〃	内藤　精彦	〃	山口　史子
暁飯島工業(株)	平塚　亨	(株)建友	栗原　義光	平井情報デザイン室	笠井　峰子
(株)アルク	大久保雄太	光商建材(株)	島田　誠	ビルトマテリアル(株)	伊藤　清
〃	近藤　広幸	コスモ綜合建設(株)	池田　勇夫	〃	桑田　展佳
〃	高羽　紀幸	〃	池田　大輔	〃	吉田　浩樹
(株)安心確認検査機構	舞木　善郎	〃	榊　貴人	(株)フジクリーン茨城	大竹　伸一
〃	前川　秀夫	〃	菅原　秋彦	〃	大竹　昌士
一般財団法人茨城県建設技術公社	奥津　広	小西(株)	石塚　紀昭	〃	小澤　啓一
〃	小泉　恵三	(有)三企地盤	小沼　功	フジクリーン工業(株)	川瀬　幸夫
(一財)茨城県建築センター	打越　信久	三和シャッター工業(株)	安田　則之	〃	前田幹太郎
〃	小林真由子	(株)新栄電気通信工業	庄司　泰世	不二サッシ(株)	森本　浩之
〃	佐藤　昭市	(株)新日東	鈴木　紀英	(株)フジタビジネスマシンズ	藤田　卓也
〃	豊田　雄一	清和工業(株)	岡村　誠	〃	宮部　正栄
〃	廣木由美子	(株)総合資格	高原　学	(株)北雄産業	梅村　卓宏
〃	吉田　一枝	大建工業(株)	栗原　隆二	〃	鈴木大二郎
茨城県木材協同組合連合会	藤田　克則	〃	山縣　浩久	北海道パーケット工業(株)	川野辺剛史
茨城県林業種苗協同組合	大越　靖史	(株)ダイワ商会	高輪　則夫	三谷セキサン(株)	小山　秀人
茨城寺岡オートドア(株)	松田　公建	(株)髙野高速印刷	森田　隆一	ミナト防災通信工業(株)	石井　浩二
植田防水工業(株)	栗原　信	髙橋商事(株)	髙橋　勲	(株)弓削コンクリート工業所	弓削　裕史
(株)エスアールエスディービー社	小澤　康二	(株)長寿荘ホテルテラスザガーデン水戸	海野　勝人	横信建材工業(株)	横須賀　靖
〃	須藤　崇人	(株)千代田興業	坂井　康秀	(株)ＬＩＸＩＬ茨城支店	大林　正明
〃	須藤　裕市	筑波研究学園専門学校	大野　克典	ＹＫＫＡＰ(株)	大塚　愛美
(株)角藤　水戸支店	小林　隆	ナブコシステム(株)	川松　滋	〃	中武　剛
〃	小林　信幸	(株)奈良屋	横山　昌弘	和知商事(株)	小野　芳文
〃	村田　弘就	(株)西尾家具工芸社	内山　貴博	〃	和知　忠道
株木建設(株)	坂本　潤	日本ＥＲＩ(株)つくば支店	中村　浩		
〃	村島　俊太	日本板硝子関東販売(株)	中野　祐樹		

北茨城市立図書館

建築作品紹介

「周辺環境・川の流れ」に呼応した おおらかさ

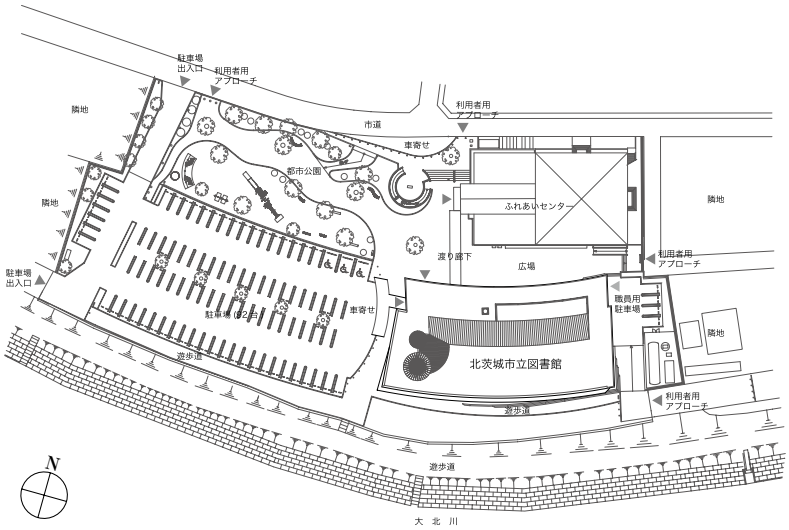
敷地は大北川に面している。ＪＲ磯原駅から200ｍほどの距離にあり、かつて市の中心市街地として栄えた周辺部の活性化も期待されている。そこで、新図書館は、大北川に馴染むように緩やかなカーブを描く建築形態とし、既存「ふれあいセンター」共有の「駐車場・都市公園」もそのカーブに沿ってデザインするなど、敷地周辺の統一感ある修景も行い、魅力向上を図った。本図書館は、児童サービスに力を入れているので（一般図書6.5万点に対し児童書3.5 万点）、1階「じどう図書エリア」を充実させ、2階「一般図書エリア」ともつながりを感じさせる構成を心掛けた。

【1階じどう図書エリア】

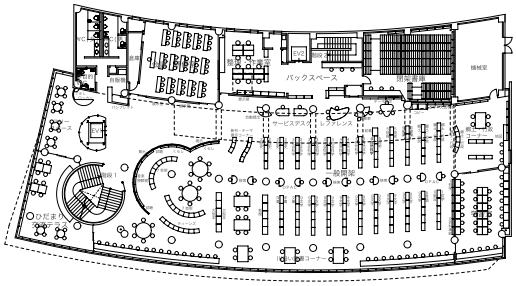
子どもにとって魅力ある空間、楽しい雰囲気に心掛けた。一方、大人にもわかりやすく有益な児童書（ちしきの本）も増えているので、2階へ向かう大人にとっても、児童書がわくわくみえる空間構成や家具デザインを仕掛けた。子どもへの関心と理解が深まり、子どもに優しい大人が増える効果も期待している。

【2階一般図書エリア】

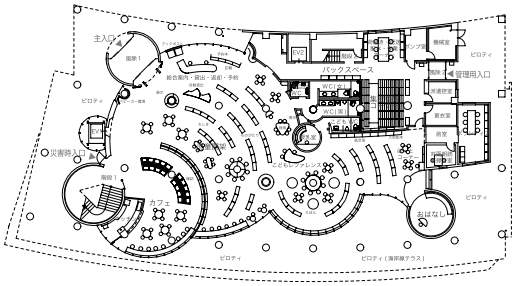
階段周辺に、程よいざわめきのフリースペース、日だまりテラス、展示スペースを配し、母親たちや中高生利用の多い「暮らし、美術、音楽、視聴覚、ティーンズ、テーマ図書」も階段近くに置くなど、1階とのつながりに配慮。また、中置書架群を単純・コンパクトにレイアウト、川の見える窓側に落ち着いた座席群を配置するなど、エリア全体を把握しやすく、かつ目的に応じた居場所を各所に見出しやすい学習＋ふれあい環境を実現している。



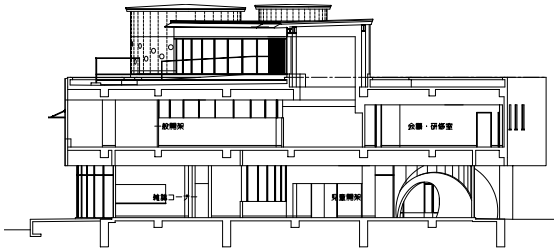
配置図



2階平面図



1階平面図



断面図

北茨城市立図書館
設計事務所名（設計JV名）:
岡田新一設計＋柴建築設計事務所建築関連業務共同企業体
所 在 地：茨城県北茨城市磯原町本町2-5-16
主要用途：図書館
建 築 主：北茨城市
撮　　影：エスエス東京　走出直道

「野口雨情のふるさと」の図書館

野口雨情作詞・中山晋平作曲の童謡「しゃぼん玉」は地域の共通イメージ。しゃぼん玉は美しく輝く「個」と「群」の関係性が魅力。ひとりで「学ぶ」⇔仲間と「学びあう」、どちらの場合でもその時々を快適に過ごせる図書館のイメージと重なりあった。しゃぼん玉のイメージを、建物全体にちりばめて、ふるさとならではの心象風景をデザインテーマとした。①光沢ある外壁タイル：「しゃぼん玉」の輝く表情をガラス釉を用いたタイルで表現。②円形平面：1階じどう図書エリアは、円をモチーフに平面・家具計画。③球体：「しゃぼん玉」のイメージで球体を3つちりばめた。「風除室」「おはなし室」「授乳室」それぞれに内部空間を体験ができる。④色ガラス玉入円形窓：子どもたちが大人の2 階スペースに上がりたくなる雰囲気をつくる。「しゃぼん玉」をイメージした丸窓を採用した。ガラス玉が太陽の光を受け、壁面に様々な色や模様を映し出している。

階段：子どもたちが1階から2階へ臆せず行きやすい。しゃぼん玉のような色ガラス球をはめ込んだ飾窓が誘う

1階児童開架：円弧が重なりあう室内に、しゃぼん玉が3つ見え隠れする（授乳室、おはなし室、風除室）。

大井川和彦知事就任合同祝賀会開催される

2017年茨城県知事選において初当選された大井川和彦知事の就任を祝う会が11月1日水戸山口楼において行われた。当日は茨城県建築士会、茨城県建築士事務所協会両会の役員・委員長を中心に48名が参加。初めに会の代表として建築士会柴会長、事務所協会横須賀会長が祝辞を述べた。続いて大井川知事より挨拶を頂き、今後の県政に対する抱負などが述べられた。その後、両会から花束が贈呈され、祝宴は鏡割から始まり、和やかな雰囲気の祝賀会となった。

県へ1000万円を寄付　設立50周年記念して　株式会社柴建築設計事務所

（株）柴建築設計事務所（水戸市）の柴 和伸代表取締役は20日、同社の設立50周年を記念し、県へ1000万円を寄付した。柴代表取締役は「これまでの50年間、県をはじめ、さまざまな方々にご支援をいただき、事務所を経営することができた。ささやかだが、県民の皆さまのために役立てていただきたい」と延べ、目録を大井川和彦知事で手渡した。

大井川知事は、「大変ありがたい。県政発展のために大事に使わせていただく」と感謝を述べた上で、「私が県民に『自分たちが県のために何ができるか考えながら行動していただきたい』という話をしている中で、このようなお話をいただいた。県民が県を良くするために主体的に動いてくれる雰囲気を醸成する一つのきっかけとなってくれれば、さらに嬉しい」と期待を込めた。 **日本工業経済新聞社（10月21日付）**

▲柴代表（左）が大井川知事へ

KRDスタジオ
KOTOBUKI RENDERING DESIGN STUDIO
茨城県建築士会・茨城県建築士事務所協会賛助会員

寿レンダリングス建築パーススタジオ
〒311-4141 茨城県水戸市赤塚1丁目385-31
TEL 029・246・6588
mail:kotobuki-r@nifty.ne.jp
http://kotobuki-r.com/
各種パース製作、お気軽にご相談ください。

設計・工事監理
株式会社 桜設計事務所
代表取締役 山田博通
〒310-0851
水戸市千波町1239 ☎029(241)8441
Fax029(241)8579
E-mail:cnsakura@cocoa.ocn.ne.jp（代表）

いきいき未来へ
COSMO コスモ綜合建設株式会社
代表取締役 池田勇夫
本社／〒310-0842 茨城県水戸市けやき台2丁目13-2 TEL.029-248-5358㈹ FAX.029-248-5377 http://www.cosmo-ac.co.jp
つくば営業所／〒305-0033 茨城県つくば市東新井2-1 KMS・S2-403号室 TEL.029-852-5000 FAX.029-852-5077

Welcome Freshman!!

④入会の目的
⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動
⑥建築士として将来の目標

加藤 雄大
27歳
支部名：県庁支部

①加藤　雄大　27歳　県庁支部
②茨城県鹿行県民センター建築指導課
③今年から茨城県建築士会に入会しました加藤と申します。今後，講習会等を通じ，みなさま方と交流を深めていけたらと思いますので，よろしくお願いします。
④職場の先輩方からの勧めで入会しました。
⑤今後，講習会・セミナー・見学会等に参加し，建築士としての知識を深めていきたいです。
⑥さまざまな講習会等に参加し，より多くの知識を身につけ，少しでも社会貢献できる建築士になりたいです。

①川澄　洋輝　30歳　県庁支部
②茨城県県西県民センター建築指導課に勤務しております。
③この度，遅ればせながら入会させていただきました川澄と申します。
以前から会報誌を楽しみに拝見させていただいておりました。
よろしくお願い致します。
④職場で入会のお誘いがあり入会させていただきました。
⑤講習会，見学会等，様々な活動に積極的に参加したいと思います。
⑥これからは建築士会の活動を通じて，建築士としての職能を身につけられるよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

川澄 洋輝
30歳
支部名：県庁支部

木村 安子
支部名：県央支部

①木村　安子　　県央支部
②住宅メーカー・工務店・設計事務所を経て、木村建築事務所を開設　日立市
④平成28年11月から事務所を開設して、平成29年から本格的に設計監理の仕事に従事しております。
落ち着いたら入会手続きをしようと思いながら、気がつけば1年経ってしまい、入会が遅れてしまいました。まだ、行事には参加しておりません。
講習会は、独立する前に勤めていた小柴浩和建築設計事務所で参加させて戴き、とても勉強になりました。有難うございます。
⑤建築士法も定期的に改正されていくので、その都度改正法を理解する為に、これからも参加させていただきたいと思います。
⑥将来の目標は、時代に取り残されないように随時新しい事に挑戦できる建築士になりたいと思います。

フジクリーン

CE型を超え、CFⅡ型を超えて、新たな浄化槽の歴史を創る

浄化槽シェア No.1

比べてみれば

CA型

2015年発売

接触ろ床方式

5・7・10人槽

- 全国浄化槽推進市町村協議会 高度処理型(N除去型)登録品
- 低炭素社会対応型
- 浄化槽法に基づく型式認定浄化槽
- 建築基準法に基づく型式適合認定浄化槽

5人槽イメージ

業界No.1のスリムボディーで浅埋め型

放流水質

BOD	20mg/ℓ以下
S S	15mg/ℓ以下
T-N	20mg/ℓ以下
COD	30mg/ℓ以下

(一財)日本建築センターによる性能評価値

流入水質：BOD200mg/ℓ、SS160mg/ℓ、T-N45mg/ℓ、COD100mg/ℓ

施工性
- 超コンパクトで、横幅970㎜、全高1,520㎜、(5・7人槽)
- 流入管底:260㎜、放流管底290㎜のレイアウトフリー
- ブロワは配管1系統、タイマなし、アースレス

維持管理性
- 散気管とオリフィス部分にワンタッチユニオン採用
- パイプクリーナー洗浄が可能の散気管形状
- 点検開口からの視認性向上

環境性能
- 安定した処理性能の接触ろ床方式
- 窒素除去機能(T-N 20mg/ℓ以下)
- 高度処理型浄化槽(N除去型)として登録

省エネ性能
- 消費電力5人槽39W
- 浄化槽の製造から運転まで低炭素社会に貢献

茨城県地区販売会社

株式会社フジクリーン茨城

〒311-4164 水戸市谷津町細田1-21 水戸西流通センター内
TEL：029-254-7777 FAX：029-254-7778

http://www.fujiclean.net/

Interview

先輩会員を訪ねて

会員同士の交流、情報そして地域貢献

飯村 純男　氏（下妻支部）
昭和27年生まれ / 昭和59年入会 / 会員歴34年

ＳＩ建築設計事務所代表。一級建築士。日本大学生産工学部建築工学科卒業後、地元の建築設計事務所に勤務。昭和58年に一級建築士を取得して翌年建築士会へ入会。
昭和63年事務所開設。

―下妻支部長としての抱負

前支部長の石川節さんから下妻支部長を引き受けて4年目になります。会員数は現在46名となり毎年減っているのが現状です。今後は一人でも多く会員を増やして、建築士会の良いところを伝えていきたいと思います。そして、地域に貢献をしていきたいと思います。

―後輩へメッセージ

建築士だけでなく準会員もどんどん増やして、会員同士交流し情報交換をして地域社会に貢献をしていただきたいと思います。

長谷川 正幸　氏（古河支部）
昭和28年生まれ／昭和54年入会／会員歴39年

私が建築士免許(二級)を取得した当時は「建築士会に入会するのは当然」と言うような時代でした。入ってはみたものの会費を払うだけ、という数年が過ぎ、仕事上のつきあいをしていた先輩会員から新年会に誘われて支部の会合に出るようになりました。

それから10年ほど経って、支部の青年部長となり、県本部の青年部会へ出るようになり、次第に県内各地に知人ができ、また県職員の皆様とも知り合うことができてきました。青年部長終了後事業委員会(現在の研修委員会)委員になり益々多くの知人ができました。このことは私にとっていろいろな面で大きな収穫となっています。

―古河支部長としての抱負

古河支部と猿島支部の合併にあたり、両方の支部に知人が多くいることから支部長に選出されましたが、多くの先輩方や同年代、若い会員の皆様に協力をいただき何とか支部をまとめている状態です。会員の減少はなかなか止められませんが、現会員を引き留めていけるよう事業を進めて行きたいと思っています。

―後輩へメッセージ

このページで多く書かれていることですが、どの会でも顔を見せなければ意味はあまりないと思います。会費を払うだけの会員は会の会計にとってはありがたい会員ですが、会費を払った分は何らかの自分への利益を受けたいと思いませんか？

県央支部　松下　理

「第12回　都市景観ウォッチング」を開催
備前堀を歩こう～水辺とまちなか周辺散策

毎年恒例の都市景観ウォッチングも今年で12回目。今回は平成29年11月18日（土）に、水戸市・下市地区にある備前堀と寺社建築を巡るツアーを行い、23名の一般参加がありました。

水戸駅南口をスタートし、柳堤橋を渡り備前堀の取水門へ。観光ボランティアの藤澤様と、今の備前堀の景観を設計した現・要建設社長の高野様が帯同し、道中色々と解説を頂きました。藤澤様からは、今から400年前に堀を作り、備前堀の名の由来ともなった伊奈備前守忠次(いなびぜんのかみただつぐ)の話を。忠次は、今の埼玉県鴻巣地方の旗本で、土木の専門家だったそうです。備前堀の完成で常澄まで用水が引かれ、約1000軒の農家が潤ったとか。高野様からは、備前堀の設計当時の話と特徴について。バブル期に計画されたもので、贅沢な作りになっているとか。水辺に突き出たバルコニーや柵を設けない等で親水性を生み出し、様式も和洋折衷。水辺性では岡山県・倉敷に負けていないとのことでした。また途中で、150年続く阿波屋染物店を訪問。5代目店主の小松崎様に、染色「水戸黒」の作業工程について話をうかがいました。

旧常陸山橋で備前堀から離れ、寺社古跡巡りへ。常照寺・蓮乗寺・吉田神社・薬王院・吉田古墳と回りました。中でも震災被害から本殿を修復中の蓮乗寺では、施工者の市原寺社建築の宮大工・塙様に寺社建築施工のポイントをうかがい、修復の白眉である施工中の獅子の漆喰彫刻を見せていただきました。ツアーの最後には蔵元・明利酒類の展示館である別春館を訪問。この秋出来たての新酒をおみやげに購入し、解散となりました。

懸念された大雨にも降られず、好評を得て無事に今年のウォッチングを終えることができました。普段車に乗っていると気づかない、地元の風景を再認識する良い契機になったと思います。訪問先との交渉や解説者との段取り、ルート選定等を行っていただいた各委員に感謝を述べ、報告を終わります。

地域貢献盛り沢山のひたちなか支部

ひたちなか支部は、市町村合併に伴い、管轄行政区の数が減ったとはいえ、広域にまたがっております。現在は、ひたちなか市、東海村、那珂市、常陸大宮市と4市村になります。実に太平洋沿岸から栃木県境までです。

そのため、当支部ではそれぞれに地区会を設け、地区代表を中心に当該市村と多方面にわたり協力体制を整えており、その一環として各地で行われる産業際や文化祭等に積極的に参加しております。特に11月は3日～5日にかけて行事が目白押しでした。

■常陸大宮地区

常陸大宮市では毎年曜日に関係なく11月3日に「ふるさと祭りおおみや　ふれあい広場」が開催されます。場所は工業団地内の西部総合公園グラウンド。今回は、苗木・花の種の配布（建築士会本部より提供）をはじめ、パンケーキ・コーヒーの販売、建築関係パンフレットの配布等を行いました。

■東海地区

東海村では11月3日～5日まで、東海村文化祭が開催されました。そのなかで「けんちくしかいてん」として参加しております。場所は、東海村総合体育館、東海文化センター及びその周辺施設です。内容は苗木・花の種の配布、ダンボールハウスをカラフルにしよう、割り箸鉄砲、耐震関係のパネル展示等でした。

■ひたちなか地区

ひたちなか市では11月4日～5日に「ひたちなか市産業交流フェア」が行われました。他地区と同様に苗木・花の種の配布をしておりますが、材木あてクイズに参加した方が対象です。また、耐震実験、ペーパークラフトの配布等も行いました。今回はバックに昭和50年当時の旧勝田表町の町並み連続写真の掲示を行い、かなりの好評を博しました。

最後に、時期が過ぎてしまっており掲載は控えますが、那珂地区でも夏場の8月26日に「なかひまわりフェスティバル」が開催され、参加しておりますことを申し添えます。

行方支部　藤﨑　政行

建築確認申請等の作成に係る留意点と住宅省エネ法についての講習会の開催

9月1日（金）に行方市内において支部員に向けての講習会を行った。株式会社安心確認検査機構の舞木善郎様に建築確認申請等の作成に係る留意点を、中川尚也様に住宅省エネ法について詳しく説明して頂きました。16名の参加者はこれから始まる住宅省エネ法に向け真剣に説明を聞いていました。

日帰り見学会の開催

10月29日（日）に参加者8名にて国立新美術館で開催されている安藤忠雄展「挑戦」と東京ミッドタウン散策を行いました。安藤忠雄さんの1970年代の個人の住宅から今も進行中のプロジェクトまで図面や模型、映像を使って分かりやすく展示されていました。特に光の教会を原寸大で再現した物は圧巻で、安藤さんの発想力には唯々驚かされました。「余白の空間」という言葉がありましたが、私たちの設計や生き方に余白が持てているか改めて考えるきっかけとなりました。見学が終わって東京ミッドタウンでお買い物等それぞれに自由な時間を過ごし帰路につきました。楽しい1日でした。

竜ヶ崎支部　秋山　穣

平成29年度茨城県 元気な森林づくり活動支援事業 雨のスタート！「本棚作り体験」

今年で２年目になる「元気な森林づくり活動」。平成29年11月23日の「勤労感謝の日」に龍ヶ崎商店街大通りで行われる 商業まつり（いがっぺ市）が開催されました。その中心的な「にぎわい広場」にて茨城県建築士会竜ヶ崎支部は茨城県産材を使用して「本棚作り体験」を通して親子のふれあいを感じて頂き、茨城県の森林育成の大切さをアピールして、建築士会が指導サポートして安全な道具の使い方や、もの作りの楽しさを一緒に体験しました。

建築士会員9名、一般参加者は延べ300人。当日は生憎の雨で、最低気温6.5℃の中、雨カッパを着込み、雨の早朝より急遽テント2張り増設して今までの準備が“無駄になるかも”との不安を抱えてのスタートになりました。

午前中はとても寒く雨の中30組程の親子の参加でしたが、午後には天候も回復し気温も上がり準備していた120組全てを体験してもらう事が出来て“今年も大盛況”無事故で楽しい時間を過ごせました。

準備段階での試作品・運営打ち合せの中で「本棚作りを体験する小さなお子さんの目線」で段取りを考え作業台の高さを45から30センチと低く設定したり、スライド式の本棚から作業工程を易しい本棚に変更したりと度重なる打ち合わせで、子供達が無理なく楽しく体験することが出来ました。また当日は運営役割分担も明確でスムーズに行えました。

小さな女の子・男の子が、緊張しながら、楽しみながら、本棚完成まで金づちを巧みに使い仕上げて完成した本棚をお持ち帰りしていきました。自分で作った本棚を使いしっかり勉強に励んで欲しいですね！

昨年の参加者の方からも、この活動を長く続けて欲しいとの声もありましたので、今後も地域の子供達とのコミュニケーションを図りたいと思います。

筑波支部　青木　孝二

耐震啓蒙活動

つくば市産業フェア・農産物フェア（10月21日）に、そして、くきざき夢まつり（11月23日）に出展し、建築士会と住宅の耐震診断についてPRしました。熊本災害の写真なども展示しました。ブースには、盛んに質問される方や パンフレットをお持ちになる方など、多くの方が足をとめてくださり、耐震性への関心の高さがうかがえました。

さらに、雨の降る中、アンケートを200名の方々にご協力いただくことが出来ました。産業フェアでは苗木２００本配布することが出来ました。つくば市五十嵐市長や、国光あやの衆議院議員さまにもご協力頂きました。

今後もつくば市と筑波支部会員の皆さまと共に、相談会や耐震啓発の事業を行い、広く一般の方々に建築士会筑波支部の活動により目を向けていただきたいと思っています。

支部のスタッフと国光あやの衆議院議員といっしょにパチリ！

つくば市五十嵐市長も来て下さいました。

空き家等無料相談会

29年度つくば市空き家等無料相談会を９月８日つくば市庁舎２階において13時から17時まで行いました。

筑波支部会員３名とつくば市建設部営繕・住宅課空き家対策室より３名の他、茨城司法書士会、公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会土浦・つくば支部の参加をいただき、無料相談会を実施いたしました。

相談者には事前予約をしていただき、持参した資料等を基に各班ごとに相談員がアドバイスを行いました。

予約相談時で満席となり、３チーム×４組　計12組の相談がこの日実施されました。

最近は土地建物売買価格や解体工事費または、枝払いなどの管理費用など、より現実的な相談が多いようです。

つくばマラソン大会参加・建築士会 PR

つくばマラソン大会に青年部の皆さんと参加してきました。

スポーツ・レクリエーションを通じて建築士会の親睦を図れるように、また新入会員増員のPR活動として、今年も参加企画しました。会場では、建築士会のぼり旗を立てていると大勢の中でも目立つマークとなって、集まるポイントになっていました。

私も含め、皆さん大変きつい状況ながらフルマラソンを完走することが出来ました。

スタート前のまだ元気な時の PR 写真

活動報告

青年委員会

委員　菅澤　達行

「新日鐵住金・日鉄住金鋼板　工場見学会」

平成29年11月7日、千葉県船橋市にある「日鉄住金鋼板　船橋製造所」と、同じく君津市にある「新日鐵住金　君津製鉄所」の工場見学会が開催されました。平日早朝からのスケジュールにもかかわらず、31名と多くの参加がありました。

はじめに訪れた「日鉄住金鋼板　船橋製造所」は、亜鉛鉄板や、塗装鋼板などを製造している工場で、販売実績が23万tと、東日本地域の生産拠点となっています。工場では実際に、めっき鋼板の製造工程を見ることができました。鋼板がめっき槽を通り、轟音をたてて30mの高さを上がって行く様は圧巻でした。

次に「新日鐵住金　君津製鉄所」を見学しました。こちらは、鉄鉱石などから鉄を作り出す工場です。また、自動車部品となる鋼板や鋼管、建築資材となるH鋼など、我々に馴染みのある製品を製造しています。12k㎡の広大すぎる敷地を、バスで移動しながらの見学となりました。加熱された真赤な鉄を間近で見学し、その熱を肌で感じることができました。

建築業界には関わりの多い、製品としての鉄。その製造には、いくつもの工程を経ていることを学びました。今回はH鋼などの建築資材を見ることができなかったので、次回開催を期待し、参加できなかった方々にも薦めたい見学会でした。

雨。
その一滴が、
建物に大敵。

業務案内
●一般建築、中高層ビルに関する防水全般
●雨漏り、水漏れ調査及び施工
●外壁吹付工事（割れ補修）
●各種工事に関するメンテナンス

植田防水工業株式会社
本社：水戸市八幡町10−71　TEL 029 (227) 4181　FAX 029 (225) 3201
http://www.uedabousui.com
メールアドレス　JDT06321@nifty.ne.jp

活動報告

女性委員会

女性委員長　平沼　清美

建築女子の“神戸ぶらぶら建築探訪”

兵庫県立美術館

六甲枝垂山にて記念撮影

この度、女性委員会では9月29日から10月1日までの3日間のスケジュールで、神戸・大阪の建築視察旅行へ行ってまいりました。同じ仕事を生業とする女性たち20名、年齢はバラバラですが、建築への熱い想いは共通、見所満載の建築探訪の旅となりました。

今回の担当者であった、篠根さんと石黒さんには大変なご苦労をかけましたが、個人ではなかなか足を運べない場所や、解説を頂くなど、有意義な時間を過ごせました。また、この旅では女性会員同士の親睦も深まり、賑やかで楽しい建築視察旅行となり、女性委員会の素敵な思い出となりました。ご参加頂きました皆様、大変ありがとうございました。

1日目：ヴォーリズ六甲山荘・六甲枝垂れ・KHギャラリー・兵庫県立美術館
2日目：大阪木材仲買会館・司馬遼太郎記念館・大阪城・天王寺自由散策
3日目：竹中大工道具館・御影公会堂他

オフィスで必要なものはなんでも！
・OA機器 ・事務用品 ・スチール家具販売
㈱トビタ文具
水戸市谷津町887　☎(029)212-5311㈹　FAX(029)253-0681

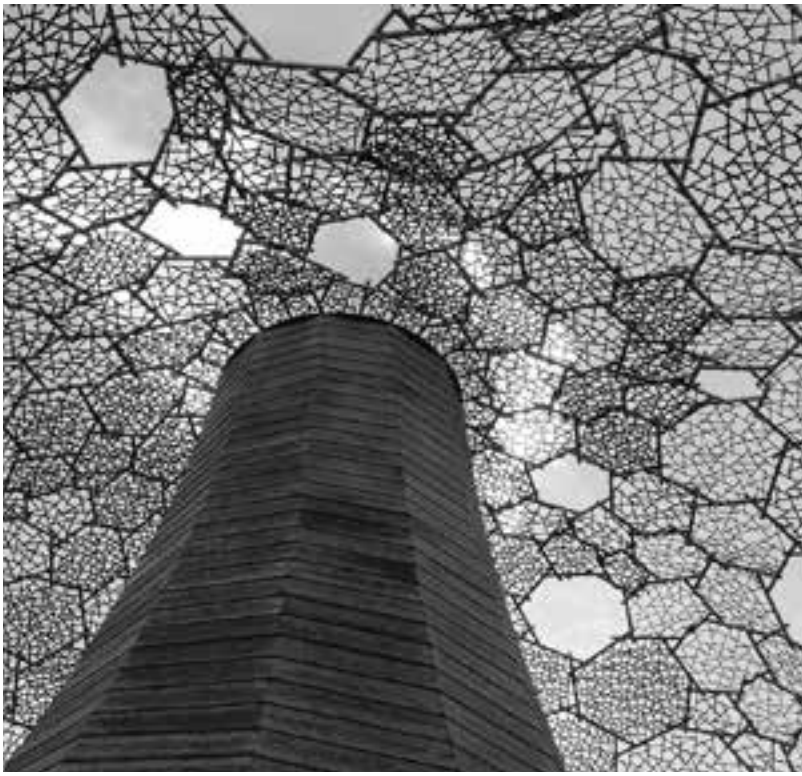
活動報告

女性委員会

県央支部　浅子　明美

神戸ぶらぶら建築探訪…
自然体感展望台　六甲枝垂れ

兵庫の食材の特別プレートランチ



総檜葺きで作られた展望台

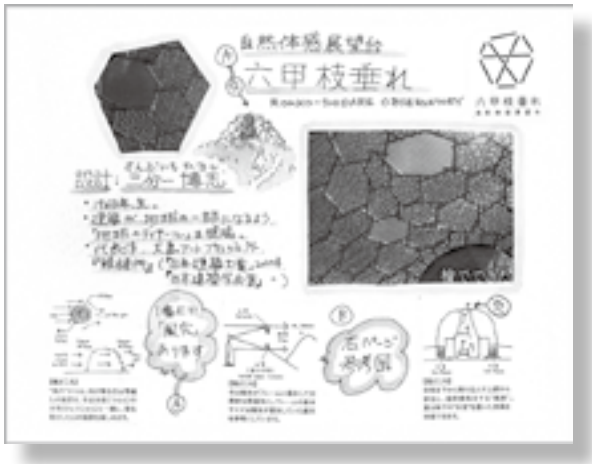
待ちに待った神戸建築探訪。朝早く茨城空港からあっという間に神戸到着。午前の探訪でちょっと歩き、今朝はちょっと早めの集合だったのでお昼ごはんも楽しみです。1日目のランチは全員揃って六甲ビューパレスで神戸の街を見下ろしながら楽しく昼食です。レストランからは神戸空港はもちろん関西国際空港まで広がる眺望。食事しながら、これからの探訪の話題で話が弾みます。

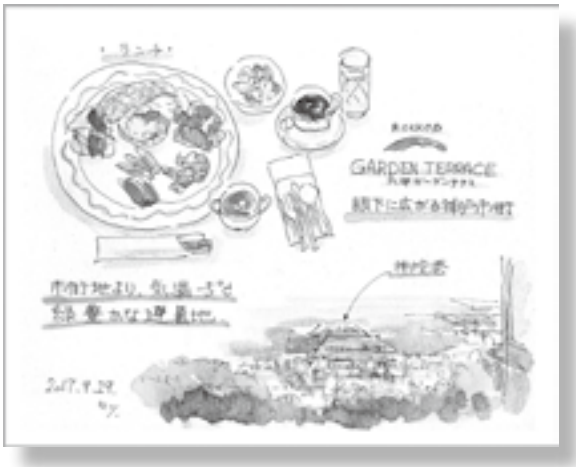
食後は六甲枝垂れ。六甲山の上に建つ樹のような展望台。あれ？思っていたより小さいかも…近づくと中央の幹の周りにある檜の枝のフレーム越しに見える太陽や景色がとても素敵。枝は湿度・気温・風速が考えられて南側と北側で細さが違い、冬には霧や雨で樹氷が見られるとの事。中央の幹は自然換気の風室になっており、冬に入口の石畳に出来る氷を氷室に入れ夏にはその氷水が自然のエアコンのようにひんやりと感じられるそうです。

山側の風穴（ふうけつ）からは自然景色をパノラマに切り取ったような窓。海側とは違った景色がゆっくりとした時間を作ってくれていました。小ぶりでしたが、四季折々そして地球と一体になった展望台。次回は違った季節に会いにいってみたいなぁと思わせてくれました。

土浦支部　川浪　せつ子

『女性委員会・神戸視察旅行・神戸六甲山にて』





今回の企画にあたり担当の方々に御礼申し上げます。神戸には、茨城空港から直通便が飛んでいるので、前々から行きたいと思ってはいたもののなかなか実行に移せませんでした。今回は、たった二泊にもかかわらず、充実した旅になったのも担当者さんのお蔭と思っております。

色々な思い出、体験のつまった視察でしたが、一番心に残ったのは、「六甲」です。高所恐怖症にもかかわらず、高い場所から眺めるのが好きです。その場所、街の構造が一目瞭然なので。山と海に接した神戸は、本当に細長い少ない面積を上手に利用した街だと良く分かりました。

神戸の方々は「山側」「海側」という土地感覚で、自分が今どの辺にいるのかが分かるそうです。街を歩いてみて、山と海に挟まれた街で、初めての私でも迷うようなことがありませんでした。

神戸の象徴は、いくつかあるものの「六甲山」の『自然体感展望台・六甲枝垂れ』は、素晴らしいオブジェでもあり、特に気に入りました。設計は、「三分一博志」さんで、「いかにして建築が地球の一部になるか」というテーマで創作活動をされているそうです。どこを切り取っても大変ステキな街でした。

有限会社
クボタ建築設計事務所
代表取締役
一級建築士　久保田　吉　文
事務所　〒315-0001　石岡市石岡3055-9
TEL　0299-23-9305　FAX 0299-23-9307
E-mail : info@kubota-sekkei.co.jp　URL http://kubota-sekkei.co.jp

活動報告

女性委員会

県央支部　飛田　直身

建築女子の神戸ぶらぶら建築探訪に参加して

今回の建築女子の神戸ぶらぶら建築探訪では感動させられることがとても多く、何からお話してよいか迷いましたが、まず“旅のしおり”では　かなり作り込んだ内容で「旅のしおり」を読むだけでもこれからの旅の面白さが増したように思えました。

そして方向音痴な私を丁寧に誘導してくださいましたリーダーの方には本当に感謝申し上げます。リーダーの先輩方の企画力と指導力は格別でした。私にもできるかどうか不安は多々ありますが見習っていきたいと思っています。

そして旅行の主役の建築探訪の中でも建築家安藤忠雄氏の建築に感動させられました。

始めにＫＨギャラリー芦屋　コシノヒロコさんのギャラリーから、兵庫県立美術館、そして司馬遼太郎記念館を廻りました。ご存じの通り全てコンクリート打ち放しですが、どれをとっても個性があり、洗練されていて、また違った印象に見えてきます。

そこには安藤忠雄氏の原点、志、未来についての繋がりや地域との関係性、人との関係性が作品の中にも現れているようでした。安藤忠雄建築は完成して終わりではなく、未来と共に育てていくものと強いメッセージが込められていることに感動しました。それはとても興味深く、感性を養うことができる貴重な機会となりました。

このような有意義な建築女子旅に参加できたことに嬉しく思っております。ありがとうございました。

土浦支部　久保田 綾子・橋本　珠美

わくわくセミナー「住宅設計者の基礎知識と対策」

11月のわくわくセミナーは、“2020年省エネの義務化に向け、住宅設計者として備えるべき基礎知識と対策について学ぶ”というテーマで、講師に日本ＥＲＩ株式会社　省エネ推進部　畫場（ひるば）貴之氏をお迎えし、土浦市三中地区公民館において行いました。最近、住宅の省エネに関するセミナーは、建物の技術的な説明に関することが多く行われているかと思いますが、今回のセミナーでは、前段以外は、あえて省エネ住宅に関する技術的な説明はなく、省エネの必要性、社会的使命、メリットおよび今後の方向性（省エネによる地域創生等）の観点からなど、省エネの基本的な内容を主に説明して頂きました。講師の畫場さんの説明がとてもわかりやすく、なおかつパワーがありましたので参加者の皆さんも熱心に聴講されていました。今後は、今回配布頂いた資料も参考とし、省エネ基準の評価のベースの理解も深め、質のいい住まいづくりについて、考えていきたいと思います。

わくわくセミナー９月ブロックについて

わくわくセミナーのタイトルは、年度末にそれぞれが課題を持ち寄り年間予定を立て、提案者がそのセミナー担当に就いていることが多いのですが、今年度、持ち込む課題が見つからなかった私は、縁あって気にすることもできなかったブロックについての担当を引き受けることになりました。

そんな状況なので、ざっくりとしか知らなかったブロック。多くの種類も用途もあることが分かり、今後は注目していきたい分野だ！とは思ったのですが、２時間のセミナーでは学びきれず、知りつくすことができず、の課題を残すこととなりました。…それは私だけでしょうか？

セミナー講師はエスビック(株)さん。女性部のセミナーだからということで土木女子　中尾昌子さんを紹介してくださいました。

大学から土木を学んできて、今は各地でのセミナー講師や時々工場で砂まみれになってブロック作製もしているそうです。

土木学会でのブロックにおける規則と建築基準法を比較しながら分かりやすく話を進めてくだり、施工上の見えていなかった部分も知ることができました。

ブロック工場が常総市にあるということで、工場見学のお誘いを受けました。また企画を立ててブロックの勉強の続きを計画したいと思います。

女性委員会

ひたちなか支部　叶野　文子

ラブアークセミナー「クリスマスアレンジメント作り」

昨年に引き続きフラワークラフト・アンティクスの稲川美保先生にクリスマスアレンジメントを教えていただきました。

今年はテーブルにも壁にも飾ることができる箱型のアレンジメントでした。

ホワイトとブラウンの2種類から選ぶことが出来たのですが、どちらもとても素敵で色を選ぶのも悩みました。参加された皆さまも色選びに悩まれたそうです。

11月となり今年もそろそろ終わりが見え始めた頃に行うクリスマスエレメント作りはクリスマスの気分をますます高めてくれます。これからクリスマスまでテーブルを華やかに彩ってくれ、今年も楽しいクリスマスとなりそうです。

今回は女性だけの参加で、始めから終わりまでおしゃべりしながらの楽しい会となりました。ありがとうございました。

先生の話を聞く時は真剣です

集中して製作中です

力作が出来ました！！

「合格率」と「合格者占有率」は違います。

No.1であっても、
日建学院がこだわるのは「合格率」です!

※合格率…受講生のうち、どれくらい合格されたのか?　※合格者占有率…合格者全体のうち、受講生合格者がどれくらい占めたのか?

合格率一例

2016年度 1級建築士 設計製図試験
模擬基準達成者 1,929人中 合格者 1,164人

60.3%

合格者占有率

直近30年間 No.1
1987~2016年 合格者累計

当学院合格者の
1級建築士占有率
日建学院 1級建築士合格者 96,701人
全国累計1級建築士 164,244人

58.9%

私も
日建で頑張りました!

真実はひとつ!!

結

努力を結果に結びつける

あなたの夢、応援します。

日建学院

水戸校 駐車場完備
〒310-0852 水戸市笠原町978-27 iPICビル3F
TEL.029-305-5433
FAX.029-241-5128

つくば校 研究学園駅より徒歩3分
〒305-0817 茨城県つくば市研究学園5-1-4 高谷ビル3F
TEL.029-863-1166
FAX.029-859-5369

成田校 駐車場完備
〒286-0045 千葉県 成田市 並木町221-16
TEL.0476-22-8011
FAX.0476-22-8021

日建学院コールセンター 0120-243-229
株式会社建築資料研究社　東京都豊島区池袋2-50-1　受付/AM10:00~PM5:00(土・日・祝日は除きます)

活動報告

研修委員会

委員　郡司　政美

「スケッチアップ実用講座」を開催して

さる平成29年8月19日（土）に開発公社1F中会議室にて「スケッチアップ実用講座」を開催いたしました。

土会に置きましてはJWCADの講習以来のCAD関連講座の開催になりました
昨今BIM（ビルディングインフォメーションモデリング）が話題になり先進的に導入され活用されている事務所さんも県内に増えております。しかしながら普及しているとは言い難くその中でいち早く取り入れ活用できることがこれからの設計事務所の一つの方向性と考え企画いたしました。

大きくはAUTOCAD系のRevit、グラフィーソフトArciCADに二分されつつありますが、土会では取組のし易さ、導入費用の面も鑑みTrimbel社のSkechUpを取り上げ今回実用講座と銘打ち開催することになりました。

委員としては初めての分野の取り組みとなり、はたして何人の方が受講していただけるのか不安になりながら、準備をすすめ、延べ5回にわたる講師の方との打ち合わせ、事前のリサーチを繰り返し講義に望みました。

当日は委員は8：00集合で会場設営、PCを使用する講座でしたので電源ケーブルも10本を用意しプロジェクターも2台用意し操作画面、テキストの二面を映写しながらスムーズな講習ができるよう工夫いたしました。

講習は午前の部はNetからダウンロードしてのインストール、意外にとまどう初期設定、基本操作を講師二名と補助する３名の委員で行いました。午後の部はテキストに添付されたモデルデーターを使いまして、その後、肝心なモデリングを実際に操作しながらプレゼンまでの流れを体験いたしました。

26人の方に受講をしていただき、講義を受けた方にヒアリングしたところ使ってみたいとの意見もあり概ね好評との感触を得ることができ主催者としてほっと胸をなでおろしております

今回の講習では三上建築事務所さんの全面協力のもと所員の齋藤勝弥氏、矢端孝平氏のお二人を派遣いただいたことに紙面を借りて御礼申しあげます。

まちづくり委員会

委員　田中　一博

「体感ルート・ガイドマップ」について

境町：野口熊太郎茶園

坂東市：旧相澤酒店（秀録）

つくば市：根本家住宅

つくば市：旧沼尻家住宅（藤右ェ門）

まちづくり委員会で、平成19年より茨城県に残る“むかしの家”を再評価し、その魅力を多くの方に知ってもらう「“常陸国のむかしの家”体感ルートマップ策定プロジェクト」を実施し、各地区の代表的な建物やエリアの特徴などをまとめて冊子を発刊してきました。

第５弾まで発刊しましたが、まだ紹介していない地域が残っているということで、第６弾は常総・取手を中心とした県南西編を発刊する運びとなりました。

まちづくり委員会では９月16日(土)に坂東・常総方面、10月25日(水)につくばみらい・取手方面のガイドマップ視察を実施しました。

今回のルートもすばらしい歴史感のある建物が多く、地域の人々の暮らしと共にあり続ける歴史的な建物の魅力・価値を見出すことのできるものとなっております。

体感ルートツアー、ガイドマップ発刊は来年度の予定となっておりますので楽しみにお待ちください。

会員委員会

委員　堀江　功

第26回 日帰り見学会「柴又・帝釈天&上野周辺」の報告

日時：11月3日(金)8：30　土浦合同庁舎駐車場集合
参加者：72名　参加費：3000円移動手段：バス、徒歩

皆さん、こんにちは。会員委員会の堀江です。映画「男はつらいよ」の寅さんの実家の門前町を巡り、御徒町で和食をとり、上野周辺を自由散策するコースです。

①柴又・帝釈天（題経寺）

京成柴又駅から帝釈天までのおよそ200m余の参道は、駅前に寅さんの像、さくらの像が建てられ、川魚料理、団子屋などで活気あふれる国の重要文化的景観に選定される所です。帝釈天は二天門の彫刻！？端龍のマツが見事です。

②「土風炉」昼食会場

和モダンでおしゃれな空間で佐渡直送のおいしい焼魚和食をいただきました。

③上野周辺自由散策

上野恩賜公園にある世界遺産建築家ル・コルビジェが設計した国立西洋美術館、その向かいに立つ東京文化会館（弟子の前川國男設計）、西側のイチョウ並木は黄葉スポットで11月下旬頃色付く様子。博物館、美術館などが魅力的な展覧会（東京国立博物館で仏師・運慶展、東京美術館でゴッホ展、国立西洋美術館で北斎とジャポニスムHOKUSAIが西洋に与えた衝撃）を開催していた。広大な公園内に点在する清水観音堂、不忍池、五重塔、上野大仏、上野東照宮など往時の様子を想像しながら散策し、六本木国立新美術館での安藤忠雄展まで足をのばして文化の日を満喫しました。

帝釈天 入口

国立西洋美術館 外観

柴又・帝釈天 参道

情報広報委員会

委員　山田　一博

「茨城県木造住宅耐震診断士養成講習会」の開催

平成29年11月21日、市町村会館において「木造住宅耐震診断士養成講習会」が開催されました。講師には建築士会常務理事であり、ひたちなか支部長でもある川又先生を迎えて行われました。昭和56年以前に建築された既存の木造住宅の耐震診断を行う、その診断士を養成する講習会です。

市町村などの行政が実施する木造住宅耐震診断士派遣事業や耐震診断費補助事業を利用する場合、その診断を行う建築士等が茨城県木造住宅耐震診断士であることが必要となります。今回の講習会には、新規・更新に学ぶ４６名の参加がありました。

第一部「総論・一般診断法」、第二部「例題演習・精密診断・補強方法」という構成で約4時間に及ぶ講習となりました。先ず第一部では、耐震改修促進法ができた経緯やその内容について、設計と耐震診断の違いや建築基準法の改正に伴って変わってきた木造住宅に係る基準の変遷、また木造耐震診断における根本的な法則、その流れなどについておさえておくべき基本的な話から始まりました。

次は、一般診断法についての解説をお話頂きましたが、眠くなってしまうような硬い話ばかりでなく、実際に先生が経験されてきた話を交えながらの講義でした。それは、診断を依頼された人との接し方、話し方を含め、やはり一般の方にわかりやすい説明を心がけることなど、当たり前のことのようでもありますが、お互いの認識違いや価値観の相違もあるであろうことを念頭におきながら業務に向かうというような、もしかすると診断士や建築士以前の問題であり、大袈裟ですが人としてどうあるべきかの心得までも垣間見えた内容でした。もしかすると、診断を通して関わる人それぞれの立場に寄り添った業務を行わなければならないという、実は今日の講義で最も大事な話だったような気がします。

第二部では、具体的な計算方法や耐震補強のための精密診断の概要、並びに実際の補強方法などを実例と共に解説頂きました。

そして、この講習を受講すれば全て理解でき、すぐに何か得られるということではなく、経験を積みながら技術をさらに身に着けていくことが大切であるという先生の言葉を肝に銘じ、日々研鑽し、改めて自戒が必要だと感じた講習会でした。

なお、建築士会では茨城県より委託を受け、次年度以降もこの講習会を実施する予定とのことですので、該当する方や受講しなければならない方は、建築士会のHP等を今後確認してみてください。

委員　軽部　守彦

既存住宅状況調査技術者講習

平成28年6月に宅地建物取引業法の一部が改正され、平成30年4月からの既存住宅売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務づけられます。既存住宅状況調査は登録機関の講習を終了した建築士のみに認められており、建築士の新たな業務として期待されています。建築士会の上部団体である「公益社団法人日本建築士会連合会」も既存住宅状況調査技術者(以下調査技術者という)の講習機関として、国土交通省の登録を受け、各士会の協力の下、当該講習を積極的に取り組むことになりました。平成29年4月27日に日本建築学会「建築会館ホール」において既存住宅調査技術者講習講師養成講習会が行われ、私を含め4名の講師予定者が参加して、講師養成講習を受講してきました。本番の講習と同じカリキュラムのほかに、制度概要説明、講師としての心得等の講習があるため、通常、講師養成講習を受講すれば、調査技術者の資格をいただけるものと思っていたのですが、講師養成講習を受けても別に、技術者講習を受講しなければ調査技術者になれないといった厳しい条件でした。

今年度、建築士会では、移行講習2回、新規講習3回の合計5回の講習会を主宰し、367名が受講し、終了考査を経て365名が新たに調査技術者として認定をされました。私自身も昨年度、「建築士会インスペクター養成講座」を受講し、長期優良住宅化リフォーム推進事業に係る「建築士会インスペクター」の登録を受けていたため、6月に本制度への移行講習を受講し、新たに調査技術者として登録を受けました。本制度は空き家対策や既存中古住宅の流通の活性化を考えたとき、少しでも消費者である買主が安心して売買契約を行えるための制度であり、我々建築士には高い倫理観と、第3者技術者として、公正公平で客観的な判断が求められます。制度が始まったばかりで、どの程度の需要があるかもわかりませんが、会員各位も調査技術者を早めに取得し、来る既存住宅の取引時に添付される報告書を不動産業者から作成依頼を受けたときに、対応できるようにしておくことが必要です。

茨城県西地域の未来を創造する

軽部建築設計事務所

〒304－0061　茨城県下妻市下妻丙47番地
TEL　0296-44-3380　FAX　0296-44-5643
E-Mail：　karube@karube-ao.com
Home-Page　URL：www.karube-ao.com

空き家相談円滑化へ

茨城新聞
掲載

空き家相談 円滑化へ

日立市、4団体と協定

増加傾向にある空き家対策として、日立市と県宅地建物取引業協会など4団体は22日、相談に関する連携協定を結んだ。市が所有者と団体との橋渡し役となり、売買や耐震診断、相続、管理などの相談を円滑化し、空き家が放置されるのを防ぐ狙い。市内の空き家率は現在4・1%だが、山側団地住民の高齢化により、今後急増するとみられる。

協定は、市が6月に策定した「市空家等対策計画」に基づく取り組みの一環。協定を締結した4団体は、同協会のほか、県建築士会と茨城司法書士会、市シルバー人材センターで、売買や賃貸、耐震診断やリフォーム、相続問題などの法的手続き、家の中の清掃や換気、庭の草刈りといった管理などに対応する。

協定により、市が空き家に関する相談を市民や遠方にいる所有者から受けた際、各団体を紹介することで、相談者が専門的な助言を受けられるようにする。市には本年度、約140件の相談があった。市だけで対応できないケースも増えており、各団体と連携する必要があると判断した。

空き家対策の連携協定を締結した日立市の小川春樹市長（中央）と各団体の代表者＝同市役所

協定の調印式が同日、市役所で開かれ、小川春樹市長と各団体の代表者らが署名した。小川市長は「専門的見地から助言をもらえるのはありがたい」と話した。同協会の張替武敏会長は「空き家は全国的に深刻な問題になっており、各団体と協力して役割を果たしたい」と述べた。

市が昨年実施した実態調査によると、市内で287戸の空き家が確認された。このうち「危険」「著しく危険」と判定された空き家は計12・8%だった。（川崎勉）

建築士事務所企業年金基金への加入について

退職金・年金制度は、『魅力ある職場づくり』に向けた大きな課題の一つであり、その充実に向けて種々ご腐心のことと推察いたします。

今回、ご紹介の企業年金基金は、茨城会会長が理事長の安定的でシンプルな制度であるとともに、リスクを抑えた健全な内容となっており、事業所の退職金・年金制度の充実に向けて必ずやお役に立つものと考えております。

また、本年金基金は、地域や業種の縛りもなくなるため、茨城県内に所在する会員・賛助会員の事業所も加入が可能となっております。

この機会に、是非、ご加入頂きたくご案内申し上げます。

なお、ご不明な点につきましては、建築士事務所企業年金基金までお問い合わせ下さい。

問合せ先：**建築士事務所企業年金基金**

〒141−0031　東京都品川区西五反田2−29−11
日幸五反田ビル別館2階

TEL.03 (5435) 2041　FAX.03 (5435) 2130

空気調和・衛生設備・設計施工
＜水と空気のパイオニア＞
清和工業株式会社
代表取締役 小川　三郎
本　　社■水戸市東野町140-4　TEL029-248-2413
日立営業所■日立市東多賀町2-10-40 TEL0294-36-0481
土浦営業所■土浦市中貫1911　TEL029-832-4780
http://www.seiwakogyo-web.co.jp

『建築士事務所企業年金基金』の概要

加入資格要件と掛金

○加入資格　〈厚生年金基金(加算部分)と同様の加入資格要件〉
厚生年金の被保険者(６５歳まで)

○加入時期　〈厚生年金基金(加算部分)と同様の加入時期〉
事業所に使用されたとき

○基準給与　〈厚生年金基金(加算部分)と同様の基準給与〉
報酬月額(年1回9月改定、月変・賞与なし)
年１回、9月改定以外に掛金の基準となる給与は変わりません

○標準掛金及び事務費　〈厚生年金基金(加算部分)と同様の水準〉
基準給与月額×掛金率　(賞与からの掛金はありません)

掛金の種類	掛金率
標準掛金	０．９％
事務費掛金	０．３％

(注)育児休業、産前・産後休業の掛金免除はありません

支給要件と給付

○支給要件　・年 金 ： 加入者期間１０年以上かつ６５歳に達したとき
加入者期間１０年以上で６０歳以上で退職したときは即時に支給
加入者期間１０年以上で６０歳未満で退職したときは６０歳に達したとき
※年金での受給に変えて一時金での受給が可能(選択一時金)、
年金の支給を一定期間繰り下げることも可能
・一時金 ： 加入者期間１年以上で退職したとき
(注)加入者期間は加入者の資格を取得した月からその資格を喪失した月の前月まで

○給付額の算定　キャッシュバランスプラン
…個人単位に掛金と利息の元利合計額を積み立てる制度
積立期間中の利息:運用実績〈変動〉 (上限４％　下限０％)

○給付の種類　・確定年金:支給期間を限定、支給期間中に死亡した場合、
残りの期間分を遺族に支給
5年、10年、15年、20年から選択(年金支給は6月・12月の年2回)

○年金給付利率　〈受給中の利息〉 １．０％(固定)

給付モデル

○新規加入者の場合〈前提〉標準報酬月額３２万円・掛金０．９％・運用実績２．０％で一定とする

加入年数	一時金	掛金累計額 (参考)
10年	378, 422円	345, 600円
15年	597, 660円	518, 400円
20年	839, 717円	691, 200円
30年	1, 402, 033円	1, 036, 800円
40年	2, 087, 493円	1, 382, 400円

信頼と安心の住まいを目指す

一般財団法人 茨城県建築センター

住まいづくりに関する手続きを一元的に扱っています。
迅速な対応とともに、サービスの提供として次のことを行っています。

☆ 『WEB申請』を行っております。
☆ 当センターのご利用の多いユーザーには
『建築確認手数料の後納制度』があります。
☆ 『レターパック等にて確認申請』を受付けております。
確認引受書と併せて新しいレターパックを返却させていただきます。

1 建築確認・検査業務

業務の範囲
- 全ての建築物の確認（ルート2審査対応）、中間検査及び完了検査
- 建築設備、工作物の確認及び完了検査
- 仮使用の認定手続き

完了検査率アップ！
検査済証は適法建築物の証です。

2 住宅瑕疵担保責任保険業務

- まもりすまい保険（統括事務機関）住宅保証機構㈱
- あんしん住宅瑕疵保険（取次店）㈱住宅あんしん保証
- JIOわが家の保険（取次店）㈱日本住宅保証検査機構
- ハウスプラスすまい保険（取次店）ハウスプラス住宅保証㈱

3 フラット35適合証明業務

フラット35

- 住宅金融支援機構の融資住宅による設計審査・現場審査業務

4 住宅性能評価業務

住宅性能評価制度のメリット
- 住宅の性能の相互比較が出来ます
- 設計どおりの施工がされるよう第3者機関（当センター等）による検査が受けられます
- 円滑・迅速で専門的な紛争処理が受けられます

5 長期優良住宅技術的審査業務
6 低炭素建築物技術的審査業務
7 BELS評価業務
8 省エネ適合性判定業務
9 省エネ関連技術的審査業務
10 構造計算適合性判定業務
11 耐震診断・補強計画判定業務
12 建築技術の啓発・情報提供業務

- 住宅・建築に関する相談のできるコーナーを本部及び県南事務所に設けています
- 毎週第1・第3土曜日10:00～16:00(12:00～13:00 昼休み)

http://www.ibakenju.or.jp/

お問い合わせは

一般財団法人 茨城県建築センター ※営業時間／午前9時～午後6時まで（第2・4・5土曜及び日・祝日を除く）

■本部事務所（水戸市）
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-30
TEL.029-305-7300 FAX.029-305-7310

■県南事務所（つくば市）
〒305-0035 茨城県つくば市松代1-18-1
TEL.029-860-8088 FAX.029-860-8090

■県西事務所（古河市）
〒306-0126 茨城県古河市諸川1064-1三友ビル5F
TEL.0280-75-2600 FAX.0280-75-2603

一般社団法人 茨城県建築士会 会員の皆様へ

迎春

新春を迎え、平素のご厚情に深くお礼を申し上げますとともに
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

平成30年 1月

一般財団法人 茨城県建築センター
会長 柴 和伸
職員一同

2016～2018

SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

since 1967　50th

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階
TEL 029（227）0222
FAX 029（231）0960

http://www.shiba-arc.co.jp/

一般社団法人
茨城県建築士会
http://i-shikai.com